

ワンポイントアドバイス

お手入れ簡単♪

家庭用タイルカーペット『ファブリックフロア』

今回は、大人気の家計用タイルカーペット『ファブリックフロア』のお手入れ方法について、ご紹介します。さまざまな色柄を組み合わせるなどお部屋に合わせて手軽に楽しむことができる『ファブリックフロア』掃除しやすく、汚れても水洗い、部分的に張替えが可能なので、清潔に長く使用する事が出来ます。



◆いつものお手入れは掃除機でOK◆

ふだんは掃除機でOK！こまめに電気掃除機をかけましょう。ファブリックフロアの汚れが目立ち出したら、天気の良い日に、固く絞ったタオルで拭くと、一層効果的です。

◆部分的に汚してしまったとき◆

油性のものや、ジュースなどをこぼしたら、きれいなタオルに少量の中性洗剤を混ぜた水を含ませて拭き取ります。汚れの真ん中に向かって叩くようにして拭き取ると汚れが広がりにません。その後、固く絞った清潔なタオルできれいに拭き取ります。洗剤が残っていると、再汚染の原因となるのでご注意ください。あとは、柔らかいブラシで毛並みを揃えて、自然乾燥させましょう。



◆ひどく汚してしまったとき◆

①汚れた部分だけ洗えます

まずファブリックフロアを床からはずします。お風呂場などで水か、中性洗剤を少し混ぜた水を含ませたスポンジまたは、やわらかいブラシで洗いましょう。固形物などで部分的にひどく汚れているところは、あらかじめスプーンかティッシュペーパーである程度拭き取っておきます。スポンジでこすり過ぎるとパイルが痛むのでご注意ください。

②洗った後はすすぎます

洗剤が残らないようきれいな水でしっかりとすすぎます。裏面は濡れても問題はありませんが、早く乾くようにあまり濡らさないようにしましょう。※すすぎが不十分であれば吸着効果が低下し、滑りやすくなる恐れがあります。

③乾燥は陰干しで

含んだ水は、まず手で振り切ったり、タオルで出来るだけ吸い取ったりしてください。もしパイルの方向が乱れているようであれば、柔らかいブラシで毛並みを揃えましょう。

風通しの良い場所を選んで、変形を避ける為、平らな場所に置くかできるだけまっすぐに立て掛けます。完全に乾かさないと、変形や変色、またカビが発生する恐れがあります。

④仕上げ

完全に乾いたら、最後の仕上げに、反りぐせがあれば直し、毛並みも揃え、パイルのほつれがあれば、丁寧にハサミでカットして下さい。



★スペアがあればさらに便利！

ファブリックフロアをはずして、洗っている間、空いたところにスペアをはめておきます。洗って乾いたら、次に使うまで大切に保管。はめこむ時はパイルが目地に挟まれないように、貼ります。洗ったファブリックフロアと洗っていないファブリックフロアでは、パイルの表面に色ムラが出て、違った色に見える事がありますが、使っているうちに目立たなくなります。

—使用上の注意—

- ・ドライクリーニングは出来ません
- ・洗濯機による洗濯・脱水および乾燥機による乾燥は行わないでください
- ・シミ取り用の洗濯に用いる洗剤は、かならず中性洗剤をお使いください
(弱アルカリ性のドライマーク衣料用洗剤や、漂白剤の使用は避けてください)

・テキスタイルフロア7000・9000は、水分に長時間触れたまま放置すると表面が白くなることがあります。この現象は製品の品質には影響ありません。水分の原因を取り除くことにより、時間の経過とともに乾燥し白化は消え、元通りになります。